

令和5年度一般財団法人かがわ県産品振興機構事業実績

1 県産品販路開拓推進事業

(1) 国内販路開拓

① 小売店・レストラン対策

首都圏や関西圏等の百貨店や量販店と連携し、通年での取引継続に努めるとともに、「さぬきのめざめ(アスパラガス)」やブロッコリー、レタス等の野菜類とシャインマスカット、イチゴなどのさぬき産フルーツの宣伝販売や、オリーブ牛、オリーブ豚、オリーブハマチ・ぶり、讃岐さーもんなどのフェアを開催したほか、首都圏のレストラン等で、オリーブ牛、オリーブ豚、オリーブハマチなどを使用した「香川県フェア」等を開催し、本県ブランド品目をはじめ、県産食材の認知度向上と販路開拓に努めた。

② 卸・仲卸対策

生鮮品、加工食品等の飲食店等への流通ルートを持つ卸売市場の卸・仲卸等と連携し、取引先企業に対する販路拡大に努めたほか、大手食品卸会社等と連携し、加工食品等の販路開拓に努めた。

③ ギフト・通信販売対策

香川県産品のみを掲載するオリジナルカタログギフトの活用促進を図るとともに、カタログ通信販売、オンラインショップを運営する業者等と連携して百貨店でのギフトカタログやオンラインショップ等で、県産品の認知度向上や販売促進を図った。

(2) 海外販路開拓

① 海外販路開拓の推進

近隣アジア諸国等をターゲットに、国・地域ごとの輸入制度に応じて選定した輸出品目について、現地小売店等でのフェアの開催等を通じて、認知度の向上に努めるとともに、継続的な販売促進と新たな販路の開拓に取り組んだ。

② 県産品輸出戦略協議会運営事業

県産品の海外輸出を戦略的に推進するため、県産品輸出戦略協議会を設置し、関係団体等と県産品の認知度向上と販路拡大に関する情報交換を行うとともに、品目別の輸出に向けた課題に関する検討会を開催した。

③ グローバル企業との連携事業

(株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスと本県産品の海外への販路拡大等に関する連携協定を締結した。
香港のPPIHの6店舗で本県のアスパラガスを使った総菜や寿司のメニューを開発し、試食・試験販売を実施したほか、米国向け「輸出セミナー及び交流相談会」を実施し、輸出に前向きな事業者の掘り起こし等を行った。

2 県産品情報発信強化事業

(1) 県産品ポータルサイト「LOVEさぬきさん」の運営

県産品の認知度向上とブランド化を図るために、年間を通して多種多様な県産品の魅力や最新ニュースを動画や写真・テキスト、メールマガジンやブログ、SNSなどによりタイムリーな情報発信を実施した。

(2) 香川県産オリーブ関連商品認証制度

県産オリーブ関連商品のブランド力の強化とイメージ向上を図るため、県産オリーブを使用した県内事業者による農林水産物や食品、工芸品等のオリーブ関連商品を認証するとともに、認証商品をPRするフェアを開催した。

(3) 県産品デジタルプロモーション事業

県産品の認知度向上と消費拡大を図るため、県内外の食に関するユーチューバーやインスタグラマーなどのインフルエンサーを活用し、YouTube配信やSNS等により積極的に県産品の魅力を訴求した。また、7名のインフルエンサーが集まり県産品を使った料理を食べながら共同で情報発信を行う「インフルエンサー大交流会」を初めて開催し、PV数の増加につなげた。

3 香川の食材プロモーション事業

(1) 「かがわの食」魅力体感プロモーション

大消費地である首都圏、関西圏において、流通バイヤーや飲食店シェフ等を対象に、生産者等が県産食材をPRするとともに、ホテル等のシェフにより県産食材を使った料理を提供する「かがわの食」魅力体感プロモーションを開催し、県産食材の効果的なPRに努めた。

(2) 「首都圏さぬきダイニング」による県産食材の認知度向上

優れた県産食材を使った料理を提供する首都圏のレストラン等を「首都圏さぬきダイニング」に認定し、レストランでのフェアの開催を支援するとともに、様々なメディアで情報発信することにより、認定店の知名度を通じた県産食材のブランド力向上に努めた。

4 「かがわの食」Happyプロジェクト事業

(1) 観光客「かがわの食」プロモーション事業

① 「かがわの食」飲食店プロモーション

県内の和・洋・中の飲食店と連携し、さぬきダイニングをはじめ県内和洋中の飲食店において、本県のオリーブ食材や地魚を使用したメニューを提供することにより県産食材の認知度向上と販売拡大を図った。

② 「かがわの食」観光OTA連携事業

旅マエ・旅ナカでの観光客を対象に「かがわの食」の認知度向上及び利用促進を図るため、OTAと連携したプロモーションを実施した。

(2) 県民「かがわの食」プロモーション事業

① 食事業連携事業

本場さぬきうどん協同組合と連携し、「年明けうどん」の一層の普及啓発に努めるとともに、全国年明けうどん大会との連携したPRに取り組み、年明けうどんの更なる認知度向上を図った。

② 民間事業者連携事業

県民の関心度が高い食文化や食習慣に合わせて、県内の食の団体と連携して県産食材を使用したメニュー開発及びPR販売を行うことにより、県産食材の魅力発信及び消費拡大を図った。各種メディアに働きかけを行い、積極的な情報発信に努めた。令和5年度は新たに、中秋の名月に合わせて「さぬきの月見だんご」を開発した。

5 地場産品・伝統的工芸品等のブランド力強化・販路拡大事業

(1) 認知度向上・販路拡大対策

伝統的工芸品・地場産品の認知度向上と販路拡大を図るため、常時取引が可能で、情報発信力に優れたセレクトショップ等と連携することで、首都圏等の店舗やオンラインショップでのフェアを開催し、フェア終了後の継続販売につなげた。

(2) 新商流確保対策

香川の「BONSAI」ブランディング事業で南フランスを訪問した際に、地元園芸店で意見交換、商談を実施した。

(3) 香川の「BONSAI」海外ブランディング事業

南フランスにおいて、5つ星ホテルでの富裕層向けプロモーションイベントや地元園芸店でのデモンストレーションなどにより、富裕層と一般消費者それぞれに対し、高松盆栽の魅力を強く発信した。

6 アンテナショップ機能強化事業

(1) 「かがわ物産館 栗林庵」プロモーション事業

栗林庵において県産品のフェアや各種イベントを開催したほか、県内事業者が栗林庵で実施するワークショップを支援することにより、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

(2) 「香川・愛媛せとうち旬彩館」プロモーション事業

旬彩館において、県産品のPR、消費喚起及び「売れる」県産品の掘り起こしや商品改良アドバイスを行ったほか、イベントコーナーでのテストマーケティングを実施する事業者への支援を行った。

7 アンテナショップ運営事業

「かがわ物産館 栗林庵」において、県産の菓子、食品、工芸品、雑貨等を幅広く取り揃えて展示・販売するとともに、ネット販売、ふるさと納税等、様々なチャンネルを活かして積極的に県産品の情報発信を行うとともに、販売促進を行った。

また、県外からの観光客だけでなく、県内の消費者に愛され信頼される販売店の実現に向けて、地元密着型フェアの開催や店外販売などを実施した。

8 県産品斡旋事業

せとうち旬彩館等に対して、栗林庵を通じた魅力ある県産品の送り込みを行い、それら店舗を通じた県産品の認知度向上と販売促進を図った。

9 物産展出展事業

百貨店等で開催される物産展に県内事業者を募って出展したほか、各地のイベントなどに出展することを通じて、県産品の認知度向上及び販売促進を図った。

10 県産品情報発信事業

栗林庵に展示販売する県産品の素晴らしさをきめ細やかに説明するほか、オンラインショップやSNS等を活用した情報発信、外国人観光客への対応、ワークショップやフェア開催に伴う消費者の反応を事業者にフィードバックすることなど、県産品の情報発信の強化を図り、販売促進を図った。